

困ったときの相談先を知ろう

2月10日、1・2・3年生を対象に「困ったときの相談先を知ろう」というテーマで、「岐阜県若者サポートステーション」「ひだ障がい者総合支援センターぶりすむ」「高山市社会福祉協議会」の方々にお越しいただき、就労に関してハローワーク以外にどのような社会的支援があるのか、社会に出て何か困ったときにどこへ相談に行けばいいのか、ということについて、話をさせていただきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン形式での講話の実施となりました。

NPO 法人「岐阜県若者サポートステーション」さんは、ジョブコミュニケーションの講師や就職相談など、日頃から本校定時制に深く関わってくださっていますが、改めて就労支援としてどのようなサポートをしていただけるのかについてお話しいただきました。

社会福祉法人「ひだ障がい者支援センターぶりすむ」さんには、「生きづらさ」を抱えている人や、事故などで身体に障がいを負った人を対象とした就労支援を行っていることや、障がい者手帳の種類についてお話しいただきました。

社会福祉法人「高山市社会福祉協議会」さんは、高山市の福祉を支える機関であり、日常生活で困っていることを「いつでも、誰でも、どんなことでも」相談できる窓口だとお話しいただきました。

生徒からは、「たくさんの相談窓口があって相談しやすさがよくわかった。」「色々な施設や窓口があり、どんなことでも力になってもらえる、という安心感を得ることができた。」「どの団体も“その人が幸せになる”を大切にして活動していることがわかった。」などの感想が出てきました。今回は対面してお話を聞くことはできませんでしたが、生徒にとって、社会に出てからの支援について知り卒業後の不安を軽減することができた良い機会になりました。



岐阜県若者サポートステーション



ひだ障がい者支援センターぷりずむ



高山市福祉サービス総合相談支援センター